

魅力ある教育環境のあり方検討委員会設置目的について

1. 設置目的

本市では、人口減少と少子高齢化が進む中、地域コミュニティと学校が密接に連携した教育を展開してきた。しかしながら、令和 6 年能登半島地震の影響により、市内の児童生徒数は震災前と比較して約 3 割減少し、学校施設も甚大な被害を受けた。

このような教育環境の大きな変化に対応し、子どもたちに質の高い教育環境を確保することは、本市の復興に向けた重要課題である。令和 7 年度に実施した「保護者との意見交換会」等における市民意見を踏まえ、中長期的な視点から「より魅力ある教育環境」の指針を策定するため、本検討委員会を設置する。

2. 検討事項

震災後の児童生徒減少に対応した持続可能な学校再編と、地域連携による魅力ある教育環境のあり方について